

福島水素エネルギー研究フィールドの太陽光発電工事が始まりました

NEDOと事業者（東芝エネルギーシステムズ・東北電力・岩谷産業）は、再生可能エネルギーを利用した世界最大級となる1万kWの水素製造装置を備えた水素エネルギーシステム「福島水素エネルギー研究フィールド（Fukushima Hydrogen Energy Research Field（FH2R）」の一部である太陽光発電工事を開始しました。

2019年3月までに10MW分の太陽光パネル設置を完了させる予定です。ここで使用する太陽光パネルの一部には、アンフィニ(株)福島工場（双葉郡楢葉町）で製造された製品を活用しています。

今回設置する太陽光発電による電力は、実証システム全体に供給を行い、実証システムの運転及び水素の製造に用います。また、太陽光発電による電力を最大限有効利用する技術も現在開発しており、この技術の実証も行う予定です。

福島水素エネルギー研究フィールド整備事業に関するお問い合わせ

【事業主体者】国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

【事業実施者】東芝エネルギーシステムズ(株)・東北電力(株)・岩谷産業(株)

（代表窓口）東芝エネルギーシステムズ(株) 担当：山根

電話番号 044-331-7713（代表）

（工事請負業者）鹿島建設(株)、岩谷瓦斯(株)、旭化成エンジニアリング(株)

県道広野小高線バイパス工事に着手しました

県道広野小高線（浜街道）

は、広野町から南相馬市までの海岸線を南北に結ぶ延長約53kmの幹線道路であり、福島県復興計画（第3次）で「復興まちづくり・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト」に位置付け、沿岸地域の復興を

支援する道路として、重点的に整備を進めています。これまで、測量や設計を進めてきましたが、この度、棚塩産業団地内の延長800mについて工事に着手しました。

県道広野小高線バイパス整備に関するお問い合わせ

【事業主体者】福島県相双建設事務所 復旧・復興部 道路・橋梁課

電話番号 0244-26-1222（課代表）

（工事請負業者）横山・平尾特定建設工事共同企業体

工事の実施にあたり、ご不便とご迷惑をお掛けしますが、ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

発行：浪江町 産業振興課

電話番号 0240-34-0248

UR都市機構 浪江復興支援事務所

電話番号 0246-38-8044

平成30年11月6日発行 第2号

棚塩産業団地だより

浪江町棚塩産業団地の整備に関する情報をお届けします。



浪江町イメージアップキャラクター「うけどん」

木材製品生産拠点施設の管理運営事業に関する協定を締結しました

浪江町が棚塩産業団地内に整備を行う木材製品生産拠点施設に関して、町と(株)ウッドコアを代表幹事法人とするコンソーシアム（共同事業体）は、9月19日、同施設の管理運営事業に関する協定を締結しました。



（左から (株)ウッドコア 朝田代表取締役、吉田町長）

同施設は、国および県の策定した福島イノベーション・コースト構想において「県産材の新たな需要創出プロジェクト」として掲げられた「CLT等新技術の導入」に向けて実施されるもので、製材から集成材の製造までの一貫生産を行い、将来的にはCLTの製造を念頭に、町では2020年3月の施設完成を目指しております。

木材製品生産拠点施設の管理運営事業に関するお問い合わせ

【事業主体者】浪江町 産業振興課

電話番号 0240-34-0248（課代表）

【運営管理事業者】(株)ウッドコア《代表幹事法人》

藤寿産業(株)／朝田木材産業(株)／(有)松岡材木店／(株)トライアンフ

CLT（Cross Laminated Timber：直交集成板）とは？

CLTとは、欧州で開発された工法で、板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのことをいい、建築の構造材などに使用されています。

CLTはコンクリートと比較し、養生期間が不要なため施工が早いこと、建物の重量が軽くなるため基礎工事が簡素化できること、同じ厚さで比べると断熱性が高いことなど、メリットがあります。

欧米を中心にマンションや商業施設などの壁や床として普及しており、国内でも国産材CLTを活用した中高層建築物等の木造化による新たな木材需要の創出に期待されています。

棚塩産業団地の工事進捗状況をお知らせします

棚塩産業団地では、ドローン（無人航空機）を使って定期的に空から現場の状況を撮影しています。



(水素プラント工事の状況)

<<福島水素エネルギー研究フィールド>>
再生可能エネルギーを利用した水素エネルギーシステムを、NEDOが整備します。
ここで製造する水素は、2020年東京オリンピック・パラリンピックを始め、様々な場面で活用が見込まれています。

<<福島ロボットテストフィールド>>
(滑走路・滑走路附属格納庫)
無人航空機用滑走路として、飛行試験、操縦訓練に使用する施設です。
福島県が本産業団地と南相馬市の2か所に滑走路を整備し、2019年度の開所を予定しています。

<<企業誘致エリア>>
イノベーション・コースト構想関連企業を誘致し、雇用創出を図るエリアを整備します。
エリアの一部において、木材製品生産拠点施設の整備を予定しています。



平成30年9月撮影